

## みやざき

第10号

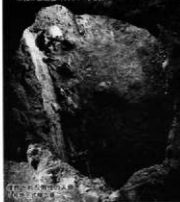
発行日 2009年3月23日

発行 宮崎県埋蔵文化財センター

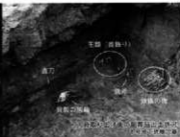
## 黄泉からのメッセージ

## 杣木地下式横穴墓群

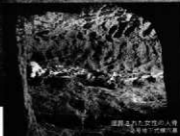
—宮崎県国富町大字川代地区—



杣木地下式横穴墓の入り口



宮崎県国富町大字川代地区の杣木地下式横穴墓群の発掘現場



2号地下式横穴墓に埋葬された女性の土器

杣木地下式横穴墓群は、国富町の中央北部に広がる標高約130mの台地上に位置し、遺跡の間隔は、地下式横穴墓の群集する地域として知られています。

発掘調査は、3基の地下式横穴墓について行い、埋葬された人物の骨や土製土器などの副葬品を発見しました。

これら地下式横穴墓の注目すべき点として、まず、1号地下式横穴墓に、葬られていた人物が、うつ伏せに葬られていたことが挙げられます。このような例は他にあまりなく、何か特別な意味があったのか注目されるところです。また、3号地下式横穴墓は、唯一土室の入り口を塞ぐために扁平な川原石が並べられており、地下式横穴墓の構造が、70kmほど先の串間市で見つかったものとよく似ていることから、地域間の関係性も考える必要があるようです。

## ● 地下式横穴墓とは？

古墳時代に造られた土人埋葬用のお墓のことで、階段に似た穴（階段）を掘った後、穴の底から横方向にトンネルを掘って遺体を安置する空間（土室）を造ります。

地面の下に空間があるため、昔から天井が落ちて発見されるケースが多く、やがて工事中に天井が落ちて倒壊発見されました。



土 器

44-0000-000

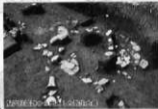
## 前ノ田村遺跡

～肥前県川町大学附属～

前ノ田村遺跡は、町の中央を流れる経實川の南に位置する丘陵地の先端に立地しています。

狭い調査範囲ながらも、弥生時代後期に利用されていた竪穴住居跡が数軒も見つかり、さらに、縄文時代早期の調理施設跡（竈石遺構・炉穴）なども見つかっています。

さて、前ノ田村遺跡の立地する丘陵地は、県内でも有数の弥生遺跡として知られており、数多くの弥生時代遺跡が発見されています。今後は、前ノ田村遺跡も、弥生遺跡の一員を占めることになりそうです。

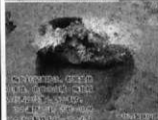


前ノ田村遺跡の発掘状況

44-0000-000

## 梅北針谷遺跡

～福岡市梅北町～



うで、作業場として利用された製鉄炉を囲った環立柱の建物跡が見つかっています。さらに、周辺には製鉄の作業中に出土した鉄クズが、たくさん散らばっていました。

この作業場で作られた鉄は、各地の鍛冶場へ運ばれ、生活道具や武器などに加工されたと考えられます。



鉄クズ

44-0000-000

## 銀岸第1遺跡（宮城）

～宮城県仙台市宮城野区～



銀岸第1遺跡の竪穴

44-0000-000  
高鍋城跡  
～群馬県高崎市～44-0000-000  
高鍋城三ノ丸跡  
～群馬県高崎市～44-0000-000  
次郎左衛門遺跡  
～群馬県高崎市～44-0000-000  
高鍋城三ノ丸跡  
～群馬県高崎市～

江戸時代の木製遺跡

44-0000-000  
宮崎第2遺跡  
～福岡県宮崎県宮崎町～44-0000-000  
舞女本遺跡  
～福岡県宮崎県宮崎町～

舞女本遺跡の竪穴

44-0000-000  
舞女本遺跡  
～福岡県宮崎県宮崎町～

# 県北革命

埋蔵文化財センターでは、東九州自動車道の建設に先立って、発掘調査を行っています。昨年度から大分県境である延岡市（旧北浦町及び新野江町）で本格的に調査が開始されています。

今年度は、6遺跡について発掘調査が行われていますが、旧北浦町周辺での発掘調査はこれ以前には過去数回行われただけで、考古学による歴史資料の蓄積はほとんどありませんでした。しかし、今回の発掘調査によって、縄文時代や宮城時代の大規模な集落跡などを発見するに当たり、宮崎県の歴史に新たな1ページを付け加える成果を得ることになりました。

歴史を紡ぐすべての人たちのために、旧町域における縄文時代から連続と続く人々の息吹は、今後も新鮮な驚きをもたらしてくれることでしょう。



六地蔵庵  
カウ石の元遺跡



縄文時代中期の縄文住居跡  
三ツ石遺跡



北浦河を望む遺跡の立地  
新野江遺跡



宮崎初!! マリア像発見か?!

## キリシタン遺物

～日向市中山遺跡出土～

中山遺跡の発掘調査は、平成18～19年度にかけて行われ、中世の山城である塩見城の一部にあたることが判明しています。

調査終了後の整理作業中、土製品の表面にペールを被った女性の顔（聖母マリアか?）とバラの葉の造形が確認され、キリシタン関係の遺物であることが判明しました。

土製品が作られた時期は、中世の末期～近世の初期頃と考えられ、土製品の中が空洞になっていることから「製造物」の容器として、壁や障の中などにかけて用いられたと考えられます。

※ 聖遺物とは?  
カトリックで聖人の遺骨や遺物などの遺物の総称で、崇敬の対象とされています。



## 近世鉄肥藩の礎

### はりかわうんが 堀川運河

～日向市油津～

堀川運河は、鉄筋材の木材を運搬する目的で、鉄肥藩立伊集屋が施工を命じ、完成まで2年余りを要して貞享3(1686)年に水運として開設されました。

今度で11歳目となる堀川運河の調査は、護岸壁の補強・保護のために昭和30年代頃から施工されたコンクリート壁を取り除く作業から始まります。そして、コンクリート壁除去後に隠れてくる石積み護岸壁について、堀川運河の整備と保存のための基礎資料を得るために実測・写真撮影などを行いました。

調査するに、散歩道や広場が、市民の憩いの場として完成しています。運河に掛かる木橋を渡って先人の偉大な業績を感じてみてはいかがでしょうか。



思った以上に大変だよ!

## 発掘体験!! 君も未来の考古学者だ!!

歴史文化財センターでは、教育普及事業の一環として、年に数回の発掘体験を企画しています。

調査の進捗状況によって、体験のできる時期や場所は限られますが、「発掘調査に興味があって、やってみたいんだけど、どこに誰に聞けばよいのやら」と思っていた方は、当センターに一度ご相談下さい。もしかすると、みなさんの家の近くで発掘調査が行われているかも知れませんよ。

歴史文化財センターでは、これまでにたくさんの遺跡の発掘調査を行ってきました。そんな遺跡や発見された遺物をも紹介するため、史料講座やミニ展覧会を開催して皆さんに喜んでいただいています。学校や地域の歴史講座などで本物に触れてみてはいかがでしょうか。詳しくはホームページなどをご覧いただき、お気軽にご相談下さい。

### 歴史文化財通信 みやざき 第10号

発行日 2009年3月23日

編集・発行 宮崎県歴史文化財センター

本誌 号880-0212 宮崎市佐土原町下野間4019番地 TEL (0985) 36-1171 FAX (0985) 72-0660

分冊 号880-0053 宮崎市神宮之丁目4番地4号 TEL (0985) 21-1600 FAX (0985) 20-2034

ホームページ <http://www.miyazaki-archive.jp/maburu/index.html>